

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

生物多様性木津川市地域連携保全活動計画～みもろつく鹿背山再生プラン～を策定しました

この計画は、生物多様性地域連携促進法に定める計画で、今後は、この計画に基づき、学研木津北地区「里山の維持再生ゾーン」を計画区域において、オオタカやカスミサンショウウオをはじめとする希少生物の生態系の保護や里地里山景観の再生に取り組みます。

■木津川市地域連携保全活動協議会

計画の策定にあたり、平成24年2月に木津川市地域連携保全活動協議会(森本幸裕会長・京都学園大学バイオ環境学部教授(京都大学名誉教授))を設置し、これまで7回の協議会で、活発な協議をいただきました。

■みもろつく鹿背山再生プランとは

「みもろつく」は、「鹿背山」にかかる枕詞として用いられていて、地域住民は「鹿背山」に特別な思い(神宿る場所)を持っていることから、このサブタイトルとしました。

『みもろつく 鹿背山のまに 咲く花の 色めずらしき』 田辺福麻呂 万葉集 卷6-1059

■計画の詳細

◆計画の将来像

目標の設定については、地域住民や活動団体等によるワークショップからキーワードを抽出し、イメージ図を作成しました。

◆活動の内容

計画では、里地里山の保全に向け、次の4つの活動を継続しておこないます。

- ①共同活動:通路や水路などの基盤整備
- ②日常活動:主・間伐などによる里地里山の景観再生
- ③協力を求める活動:SATOYAMAフォーラムや広報活動など
- ④恵みを得る活動:里山の恵みのPRなど



「計画の将来像（イメージ図）」

◆生物に配慮した里地里山保全活動

里地里山保全活動は、生物に対して配慮しながら進める必要があることから、その配慮事項などを示しています。

例:猛禽類の飛翔ルートの確保

通路の整備に際し、一定の幅を確保することで、猛禽類の飛翔ルートを確保します。



「旧歩道の飛翔ルート」

◆計画の推進のため

「木津川市地域連携保全活動応援団」を組織し、多様な主体との連絡・調整や、里地里山保全活動の進行管理をおこなうこととしています。

※この計画は、市ホームページでもご覧いただくことができます。

<http://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/10,11003,47.html>

イベント情報 きづがわ婚活プロジェクト 第2回「森コン」～里山とまちをつなぎ未来へつなげる～

森コンは、森の中で癒され、一緒に里山作業をしながら、将来をともに歩んでいける人に出会う婚活プロジェクトです。今回は、たけのこ堀りを体験し、調理から食事までの楽しい時間を過ごしていただきます。豊かな自然にかこまれて婚活しませんか。

とき 4月20日(日) 午前10時～午後4時

ところ 鹿背山ベースキャンプ

対象 30～45歳の男女

定員 各15人（先着順）

参加費 男女とも一人3,500円

申込 タイトルを「森コンの問い合わせ」とし、E-mailで次へ。

問合せ NPOきづがわネット婚活実行委員会

（担当：久保田） ☎090-8467-1492

E-mail : info@kizugawa.org

その他 参加者に、集合場所などの詳細を送付します。

協力 鹿背山元気プロジェクト

